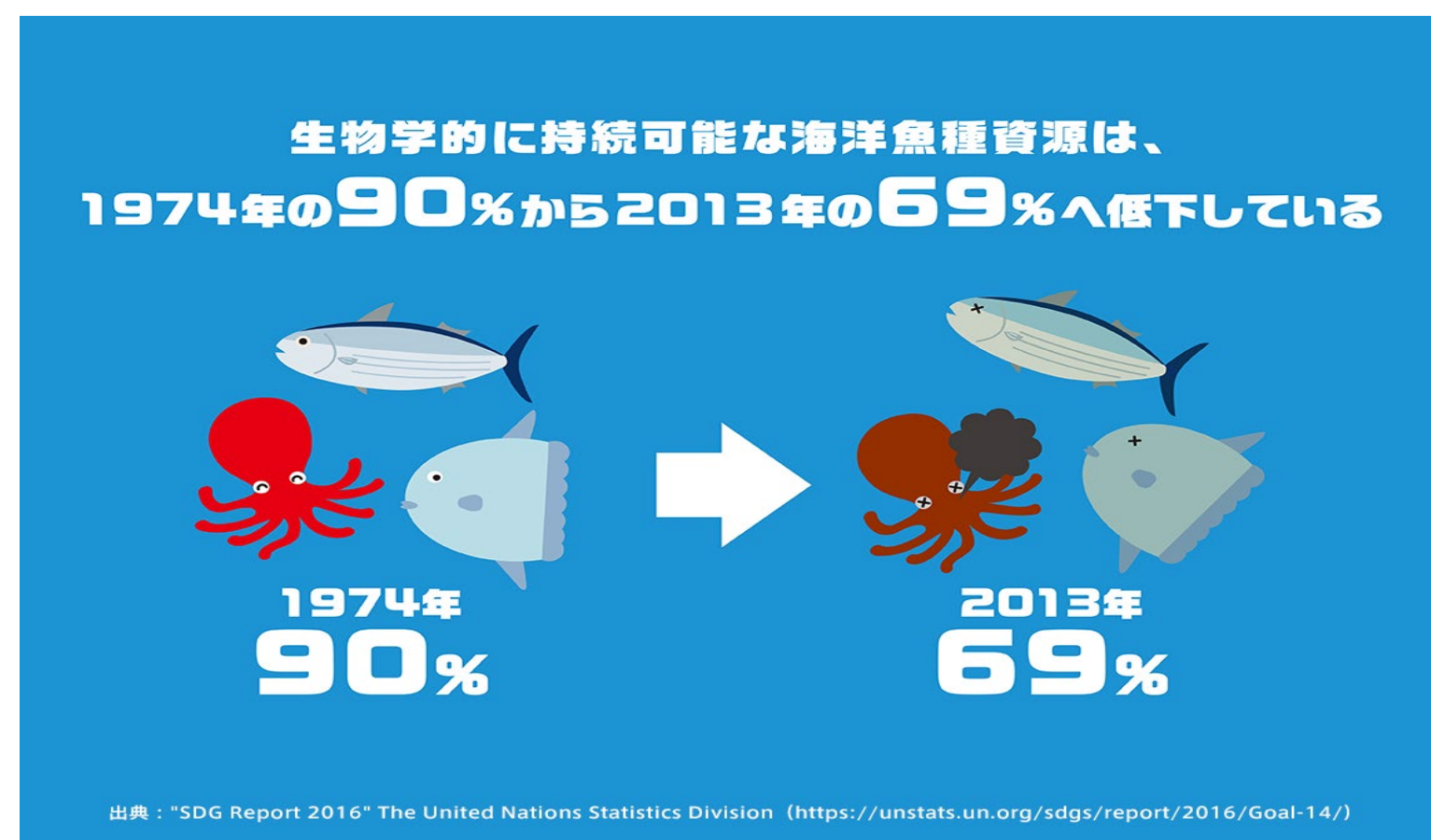


海のごみを減らす効果的な方法とは ～ごみを減らして資源増やす大作戦～



・テーマに関する説明

ニュースで、プラスチックごみが海を漂流し、ジュゴンの赤ちゃんがごみを飲み込んで、感染症になり死んだというのを見て、興味関心を持ちました。それに、社会の授業でこれ以上海の汚染が進むと、水俣病に似た病気が流行ってしまう状況になると教えられました。さらに、川で泳いでいるときに、プラスチックごみや洗濯機が落ちているのを見て、そのごみがどこに行くのか、ごみはいったい誰が掃除するのかと、興味を持ったからです。僕たちは、今の悪い海の環境ができた原因を調べ、効果的な解決方法を学科校などで実施することを目標においた、SDGsの14番の「海の豊かさを守ろう」と関連しています。



・プロジェクトの目標

評価基準1

・海のごみを減らす方法を調べ、どれくらい資源が増えるか知る

理由:ただ調べただけで、自分たちで行動しないと意味がないのでこれに設定しました。

評価基準2

・自分たちで実際に調べに行く

理由:詳しい人に聞くことで、ごみの量とかわかると思うので、これにしました。

計画

- 7月 情報収集
- 8月 桂浜の現状を実際に調べた
- 10月 桂浜事務所に電話
- 10月～11月 ポスター作成



プロジェクトの実施内容

- 情報収集
- ポスター設置
- 川の写真撮影
- 桂浜事務所に電話



プロジェクトの成果

海のごみの種類 (ペットボトルやビニール袋などのプラスチックごみ流木など)



海のごみの原因(投棄・ポイ捨て系)(漏洩系)

(投棄・ポイ捨て系)

社会的な問題でごみを不法投棄することで利益を上げようとする企業がいることや人々がポイ捨てをしていること

(漏洩系)

ごみを集積している地点からの漏洩や、災害時の応急処置で使用され、経年劣化した製品や農業資材の流出したもの

ポイ捨て防止のポスターを制作

課題・展望

ポスターによって、ポイ捨てが実際に効果があるかわからなかった。

実際に自分たちで近くの川にごみ拾いをして、どれだけポイ捨ての量があるか調べる。

(海を守るには私たちの意識変化がカギ)

増え続ける海洋ゴミに対し、私たち一人一人が普段からごみを減らす努力することが、何よりも効果的だ。限りある地球の資源を有効的に使い、循環型社会を目指すことが大事だと思います。



参考文献

日本財団ジャーナル

<https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2020/43293>

2020年1月8日閲覧

goodo株式会社代表取締役 下垣圭介

https://gooddo.jp/magazine/oceans/marine_pollution

2020年1月8日閲覧

